

# 2. 主要イニシアティブ・イシューの推進

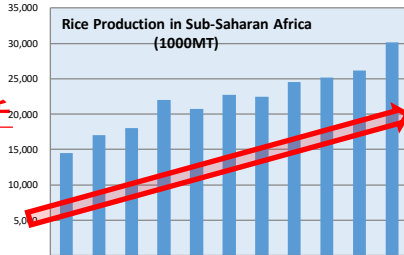
## ① アフリカ稲作振興のための共同体 (CARD) フェーズ 2

### CARD (2008-2018)

目標：サブサハラ・アフリカのコメ生産量 **倍増** (1400万トン→**2800万トン**)

#### NRDS (国家稲作振興戦略)

- ・ NRDS策定・改訂(23か国)
- ・ 優先課題選定
- ・ コンセプトノート作成
- ・ 事業実施促進



3011万トン (2017, FAO暫定値)

#### 4つのアプローチ

- ・ 栽培環境別
- ・ バリューチェーン
- ・ 人材育成
- ・ 南南協力

### “JICAの貢献” (実績)

1. **CARD運営全般**を支援  
(CARD事務局への人員派遣、活動経費支援)
2. 17か国で48件、総額**520億円**の事業実施  
(技術協力・無償・有償)
3. **1400名超**の研修員受入  
(本邦・第3国)

### CARDフェーズ2 (2019-2030)

目標：サブサハラ・アフリカのコメ生産量を **更に倍増** (2800万トン→**5600万トン**)

#### RICEアプローチ

- Resilience** 気候変動・人口増に対応した**生産安定化**
- Industrialization** **民間セクター**と協調した地場の産業形成
- Competitiveness** 輸入米に対抗できる自国産米の**品質向上**
- Empowerment** **農家の生計・生活向上**のための営農体系構築

#### アフリカ主導

- ・ 対象国**9か国**増
- ・ AU/NEPAD、**地域共同体(RECs)**の巻き込み

### “JICAの貢献” (案)

1. 国の視点 → **地域の視点**  
(適地稲作推進、域内流通促進、複数国対象の広域協力)
2. **戦略的人材育成** (アフリカ人材・日本人専門家)  
(開発大学院/本邦/第3国/域内/現地、JOCV研修・インターン受入)
3. **資金協力**の積極活用  
(灌漑開発、技術協力成果の面的展開)
4. **本邦民間企業**の進出促進  
(農業機械・収穫後処理施設メーカー進出促進、ビジネスマッチング)
5. CARD関連の**研究促進**  
(IRRI/AfricaRice/JIRCAS等との共同研究、SATREPS形成)

対象国：**32か国**

カメルーン、ガーナ、ギニア、ケニア、マダガスカル、マリ、モザンビーク、ナイジェリア、セネガル、シエラレオネ、タンザニア、ウガンダ、ベナン、ブルキナファソ、中央アフリカ共和国、コートジボワール、コンゴ民主共和国、リベリア、ルワンダ、ガンビア、トーゴ、エチオピア、ザンビア、アンゴラ、マラウイ、スーダン、ブルンジ、チャド、ガボン、ギニアビサウ、ニジェール、コンゴ共 (下線部：CARDフェーズ2より参加)

運営委員会機関：**13機関**

AfDB, Africa Rice Center, AGRA, FAO, FARA, IFAD, IRRI, JICA, JIRCAS, NEPAD, WB, WFP, IsDB (下線部：CARDフェーズ2より参加)

(実施体制)

総会

- ・ 最高意思決定機関
- ・ 対象国・運営委員会機関が参加
- ・ 1~2年毎の開催

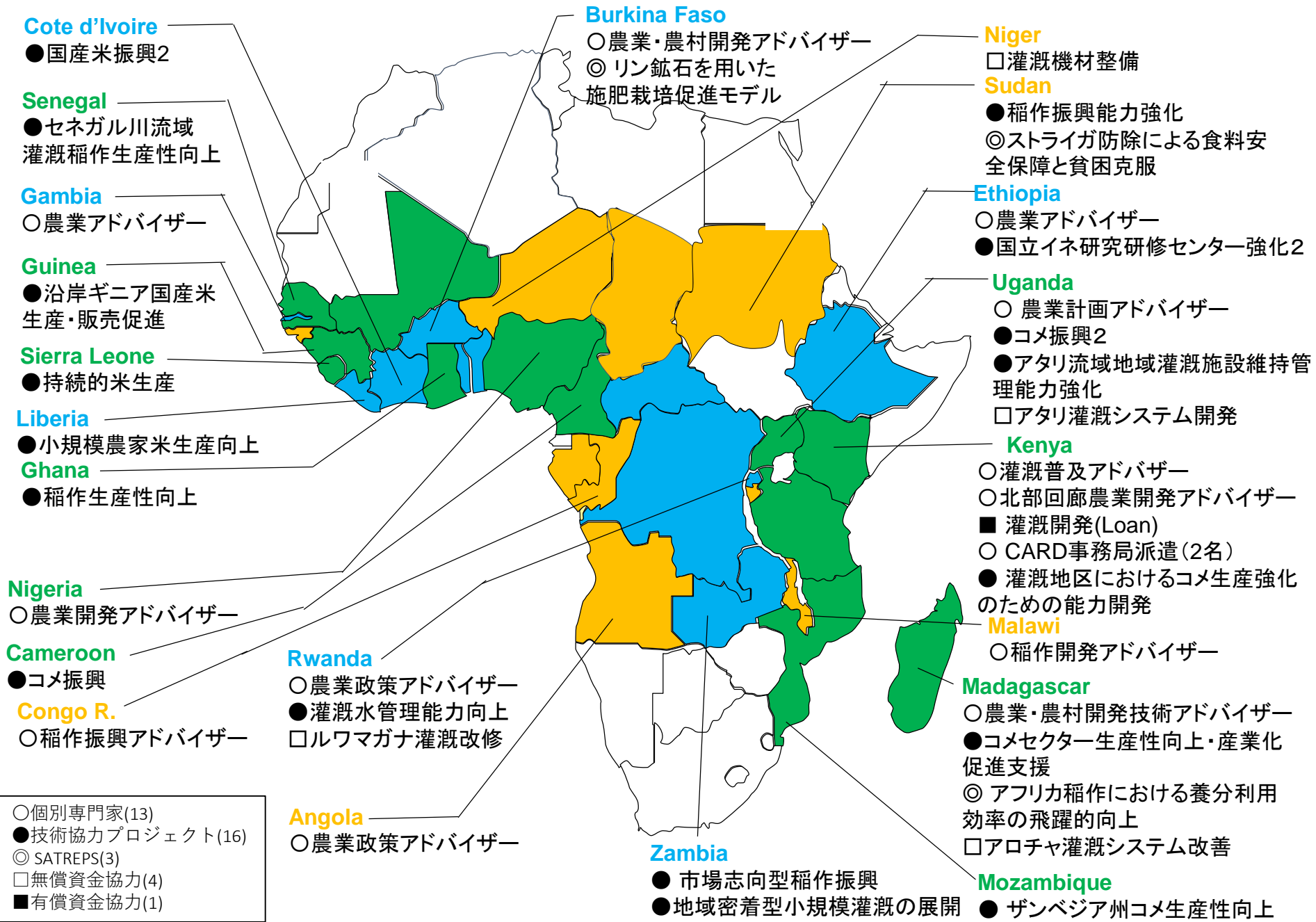
運営委員会

- ・ CARD運営に関する検討、助言
- ・ 運営委員会機関が参加
- ・ 1年毎の開催

事務局

- ・ CARD全般の運営・調整
- ・ AGRA本部(ナイロビ)に設置

# CARDの支援対象国とJICAプロジェクト（2022年2月現在）



# CARDフェーズ2 推進に向けた取組方針： 達成に向けたシナリオ（案）

以下の3つの方針に沿ってコメの生産量の増大を目指す。

- （ア） コメ生産の安定的な拡大（単収の向上、生産面積の拡大）
- （イ） バリューチェーンの構築・強化を通じたコメセクターの開  
発・発展（コメの価格低下・品質向上と安定的な供給）
- （ウ） 政府／開発パートナーによる稲作開発の推進（国産米の国内  
シェア拡大と農家による生産継続・面的拡大）

## **（ア） コメ生産の安定的な拡大（単収の向上、生産面積の拡大）**

- 陸稲や天水低湿地における稲作の導入・普及、灌漑開発などを通じた「栽培面積の拡大」に引き続き取り組む。
- 今後は現地の農業環境に適応した高収量品種の優良種子の生産・アクセス強化、適正栽培技術の開発・普及拡大を通じた「単収の向上」を一層推進する。
- 収穫後処理技術の改善（収穫後ロスの低減、品質の向上）にプライオリティを置いた取組を推進する。
- これにより、安定的かつ十分な生産が出来る体制が構築される。その結果、農家の全般的なコメ生産能力が向上し、コメ生産の安定的拡大に繋がる。